

ANNUAL REPORT

2020

4期 ■ 2019.12.1～2020.11.30



特定非営利
活動法人

セカンドハーベスト京都

ごあいさつ

私たちセカンドハーベスト京都も本年で活動をはじめてから5周年を迎えました。参加してくれているボランティア、お支え頂いている府民の皆様、企業、団体の皆様またご協力頂いているパートナー団体の皆様のおかげでございます。ここにあらためて心より感謝申し上げます。

活動当初、フードバンク活動（施設、団体への食料提供）のみの団体でありましたが、今は昨今各地で増えてきていますフードパントリー活動（個人への食料提供）である、こども支援プロジェクト、食のセーフティーネット事業と事業を拡大、深化してまいりました。

2020年は新型コロナウィルスの影響で世界が一斉に大打撃を被ってしまい、学校の休校措置で子どもの預け先がなくなり働きに出られなくなった保護者、また、勤務先の希望のシフトに入れない、失業、再就職の難航と様々な影響を受けた方々がおられ私どもへの支援要請も増加し支援期間も長くなる傾向になっております。まだまだ、新型コロナウィルス禍での状況は余談を許しませんが、「闇を嘆くより一本のローソクを灯す」存在としてこれからも努めてまいりますので引き続きご支援ご協力のほど宜しくお願い致します。

特定非営利
活動法人 **セカンドハーベスト京都**

理事長 澤田政明



活動概要

本年度は3つの活動を軸にしてまいりました。

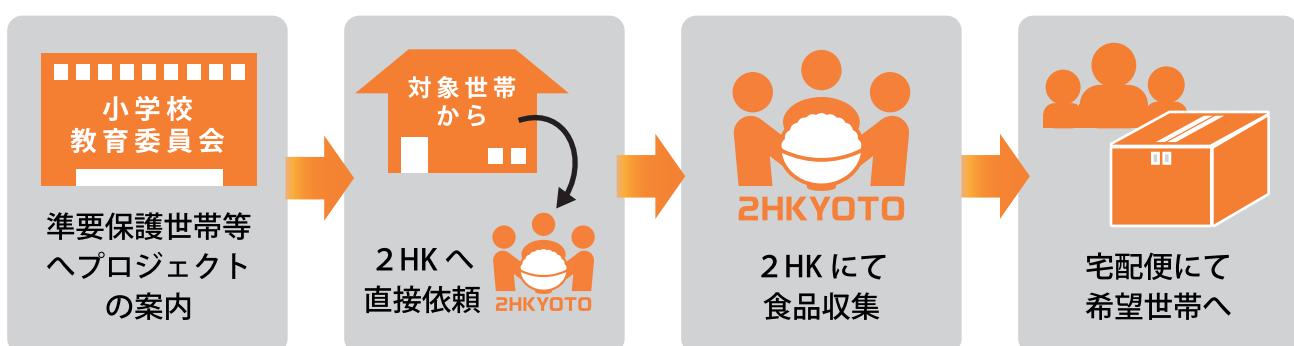
フードバンク

デリバリーチームは寄贈を受けた食品を母子生活支援施設や生活支援団体、などに毎週定期的に配達を行っています。



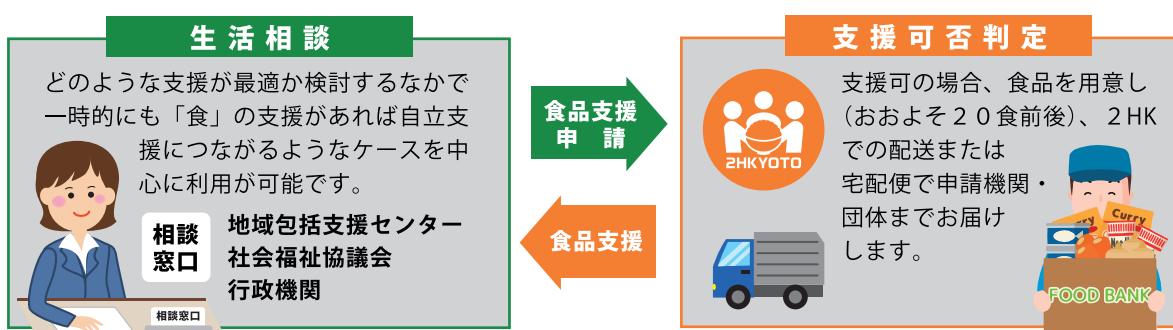
こども支援プロジェクト

給食のない長期休暇中に就学援助を受給している世帯へプロジェクトの案内を学校や教育委員会から出し、希望される世帯に食品を宅配便で届けるものです。



食のセーフティネット

自治体の福祉窓口や社会福祉協議会などへ生活相談に見えた方のうち、それぞれのソーシャワーカーが「食の支援が必要」と判断された場合、支援要請を受け食料をお届けするものです。



活動報告 1

フードバンク [デリバリー]

安全に食べられる未利用の食品を集め、必要とする施設や団体にお届けします。

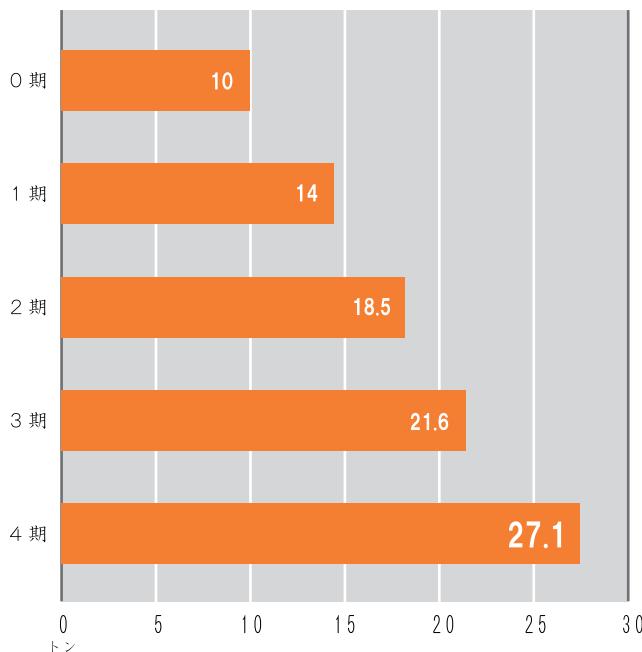


食品提供者

(順不同・敬称略)

コストコホールセールジャパン株式会社 京都八幡倉庫店／株式会社島津製作所／マルコメ株式会社／三洋化成工業株式会社／明治ホールディングス株式会社／／株式会社松風／大倉産業株式会社／株式会社ローソン／ウエストビレッジフーズ株式会社／合資会社シースリーネットサンブソンファーム／京都生活協同組合東ブロック事務局／石井食品株式会社／株式会社アイズ有限会社富久屋／カゴメ株式会社／江崎グリコ株式会社／トヨタモビリティパーツ株式会社京都支社／生活クラブ事業連合生活協同組合連合会／デロイトトーマツコーポレートソリューション合同会社／株式会社パソナ 京都／株式会社広研／特定非営利活動法人おてらおやつクラブ 協力寺院／嵐山こども食堂／一般財団法人日本バ普テスト連盟医療団総合病院日本バ普テスト病院／えんの会／弁護士法人伏見総合法律事務所／岡崎農園／谷口農園／京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課／京都市京都マラソン実行委員会事務局／京都府／京都市教育委員会／京の食文化ミュージアム・あじわい館／精華町役場／121名の府民の皆様

食品取扱量



食品配送先

京都府を中心に、大阪府、滋賀県を含め49団体、延べ15,980人に食品を届けました。

分類	件数	分類	件数
生活困窮者支援団体	4	児童養護施設	7
DV被害者支援施設	1	乳児院	1
生活支援施設	2	こども食堂	12
母子生活支援施設	3	学校施設等	3
社会福祉協議会	3	フードバンク団体	8
行政	5		
計		49	

活動報告 2

フードバンク [フードドライブ]



家庭にある未利用の食品を、最寄りのフードボックスに寄贈して頂きます。

イベント開催型



(順不同・敬称略)

定期開催型

京都生活協同組合では毎月第1土曜とその翌日の日曜日に府内9店舗（コープ桃山店・コープパリティ店・コープさがの店・コープ二条駅店・コープ山科新十条店・コープ醍醐石田店・コープ城陽店・コープ祝園駅店・コープ男山店）でフードドライブ開催のご協力頂いております。



常設設置型

本年よりあらたに公益財団法人京都YWCA、ゲストハウストゥ・カサでも設置頂き、府内6箇所になりました。それに加え株式会社島津製作所には社内の職員の方から寄贈を募るコーポレートフードドライブを常設で実施していただいております。（一般の方からの持ち込み不可）



(順不同・敬称略)

涼風（喫茶店）／有限会社スタジオアイ 長岡京店／株式会社シナノトレーディング／株式会社アネジス／公益財団法人京都YWCA／ゲストハウストゥ・カサ／株式会社島津製作所

スポット設置協力型

(順不同・敬称略)

ローム株式会社（コーポレートフードドライブ）
株式会社パソナ 京都（コーポレートフードドライブ）
オムロンヘルスケア株式会社（コーポレートフードドライブ）
学校法人大谷学園 大谷中学校・高等学校（スクールフードドライブ）
学校法人立命館 立命館宇治中学校・高等学校（スクールフードドライブ）
一般社団法人マスター・ド・シードクリスチヤン教会 - 京都
京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課
安朱学区自治連合会 精華町役場 京都聖書教会
元町地域ごみ減量推進会議
下鴨地域ごみ減量推進会議
太秦地域ごみ減量推進会議
嵯峨地域ごみ減量推進会議分



◎ 本年度は新型コロナウィルスの影響によりイベント出展型が実施されませんでした。

こども支援 プロジェクト

学校給食のない長期休暇中に就学援助受給世帯のうち希望する世帯に宅配便で食品を届ける活動です。



学校給食のない長期休暇中に就学援助受給世帯のうち希望する世帯に宅配便で食品を届けるものです。日本の生活保護制度はその捕捉率が20%（生活保護の受給対象者であるにもかかわらず利用しない人は80%）ともいわれており、先進7カ国中最低レベルにあります。就学援助受給世帯の中には生活保護基準よりも厳しい状況の方が多数おられることが統計的に判明しており、対象を就学援助受給世帯としております。

緊急こども支援プロジェクトの実施

新型コロナウィルスの影響で休校措置になった3月14日、21日、4月18日、25日に昨年こども支援プロジェクトでつながりのできた世帯に案内を出して希望する世帯延べ310件に食品を届けました。
(対象: 京都市・八幡市)



2019年冬と2020年夏のこども支援プロジェクト

12月21日に京都市、八幡市の13小学校区237世帯に食品を届けました。

8月1日に京都市、八幡市に加え宇治市の18小学校区395世帯に食品を届けました。

協力頂いた企業団体等

(順不同・敬称略)

助成・寄附

- ・公益財団法人 京都オムロン地域協力基金
- ・社会福祉法人中央共同募金会
赤い羽根共同募金
- ・一般社団法人生活クラブ福祉事業基金
生活クラブ連合会
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・株式会社京都放送（KBS京都）
- ・寄附してくださった京都府民の皆様



出荷作業

- ・京都府立京都八幡高等学校ボランティア部の皆さん
- ・おこしやす京都 AC【ococias kyoto】の選手とスタッフの皆さん
- ・認定特定非営利活動法人 京都ダルクの皆さん
- ・大倉産業株式会社



食品提供

- ・コストコホールセールジャパン株式会社
京都八幡倉庫店
- ・明治ホールディングス株式会社
- ・石井食品株式会社
- ・株式会社広研
- ・一般社団法人 日本非常食推進機構
- ・経済産業省近畿経済産業局
- ・匿名企業
- ・食品寄贈してくださった京都府民の皆様



活動報告 3

こども支援 プロジェクト [利用者アンケート]



こども支援プロジェクトを利用された方々のアンケートの結果報告
[アンケート作成・分析：石田賀奈子（立命館大学 産業社会学部）]



セカンドハーベスト京都によるこども支援プロジェクトでは、利用された世帯のプロジェクトに関するご意見や、生活の実態についてお答えいただくアンケートを実施しています。今回157世帯の方から回答が得られ、こども支援プロジェクトを利用してのご意見、利用世帯の生活の状況などを報告します。

こども支援プロジェクトの成果

プロジェクトの満足度

プロジェクトを利用しての満足度は、回答のほとんどを満足、やや満足が占めた。やや不満、という回答もあるが、本プロジェクトの実施内容でカバーできるものではなく、むしろほかの社会資源による支援も組み合わせての支えを必要とする人の声が寄せられたものと考えることができる。

主食である米、子どもたちだけで食べられるレトルト食品や缶詰は、休校で給食が止まっていた間の生活の支援になっていたことがうかがえる。インスタントのラーメンやパスタソースなど、簡単に調理できるものも同様である。子どもの発達を考えると新鮮な野菜をふんだんに用いた栄養たっぷりの食事が必要ではあるが、休校中の子どもたちの生活と就労の両立が必要だった世帯も少なくない。本プロジェクトが子どもたちの生活を支えるために有効に機能したことが明らかとなった。

●満足度

満足	145
やや満足	6
やや不満	2
不満	0

●満足度の高い食品

米	カレー
パスタ	ラーメン
缶詰	レトルト食品
お菓子	

プロジェクトを利用しての実感

申し込み、食材の受け渡しについてわかりやすかったとする声が多かった。また、不安や孤独感孤立感の軽減にも貢献できていることがうかがえる。一方で「食費以外にお金が回せた」、「あなた自身の健康への不安が軽くなった」、「お子さんの健康への不安が軽くなった」といった項目は「いいえ」の回答が比較的多い。これを課題としてみると、こうした世帯への健康や経済的な問題の解消のためにはより直接的に効果をもたらす支援が不足していることがうかがえる。

	はい	いいえ
申し込み方法はわかりやすかった	131	11
受け渡し方法はわかりやすかった	139	3
あなた自身の不安が軽くなった	138	4
孤立感や孤独が軽くなった	131	10
食物が不足する心配がなくなった	127	14

	はい	いいえ
三食食べることができた	138	3
食費以外にお金が回せた	126	17
親子の会話が増えた	135	7
あなた自身の健康への不安が軽くなった	115	24
お子さんの健康への不安が軽くなった	120	21

休校期間中の生活状況

回答者との子どもの関係

回答者のほとんどがお子さんの母親であった。

お子さんの母親	142
お子さんの父親	10
その他	1

回答者の年齢

30代、40代が大半を占めた。

20代	7
30代	63
40代	74

こどもたちの生活状況

休校期間中、子どもたちはどのように過ごしていたのか。学童や学校での預かりを利用していた世帯もあるが、祖母や叔母など親族とともに過ごしたり、また、休業や休暇を取得している母親と過ごしていた子どもたちもいた。仕方なく子どもたちだけで留守番をさせたという回答が最も多かった。(複数回答)

学童保育を利用	28
学校預かりを利用	16
自宅で一緒に過ごした	56
こどもたちだけで留守番	61
その他	16

回答者の就労状況

回答者の多くが母親だったこともあり、世帯全体の就労状況の把握には至らないが、パートやアルバイトの方が多く、経営状態の変化を一番受けやすい立場にあった人が多いことがうかがえる。

正社員	41	専業主婦	22
パート・アルバイト	71	学生	1
自営業	5	その他(休職中、無職年金とパート収入など)	13
派遣・契約社員	5		

生活保護・児童扶養手当の受給有無

生活保護の受給経験がある
世帯は18世帯となっている
る。

●生活保護

現在受給している	10
以前受給していた	8
受給していない	134

●児童扶養手当

現在受給している	110
現在受給していない	40

養育費について

受け取っていない理由としては、離婚時に養育費は受け取らないという条件になっている、相手が行方不明、借金などを理由に払わないほか、コロナの影響で減収して払えないというケースもあった。

	人数	最小値(円)	最大値(円)
受け取っている	20	18,000	70,000
受け取っていない	75		

2020年になってから経験した出来事

回答者自身が体調を崩して寝込んだ(54)、子どもの習い事をあきらめた(50)に続き、自分の悩みを誰にも相談できないと感じたが(34)となっている。

家賃を滞納した	13
光熱費を滞納した	22
あなた自身が体調を崩して寝込んだ	54
お子さんの学校や園に支払うお金を滞納	12
お子さんの習い事を諦めた	50

お子さんの不登校に悩んだ	21
同居の家族に介護が必要になった	2
自分の悩みを誰にも相談できないと感じた	34
1週間のうちに1日3食食べられない日があった	25

調査結果

2019年の消費税の増税が暮らしに大きな影響を与えており、さらに covid-19 が家計や暮らしに与えた影響は深刻である。また、学校や保育園、幼稚園といった子どもの第二の居場所までもが閉鎖される中で、子どもたちの学習、生活と就業の両立に悩んだ母親が多かったこともうかがえた。長く続く苦しい生活の中で、社会や周囲の人への信頼感を失っている人たちがいることも浮かび上がってくる。

セカンドハーベスト京都の今回のプロジェクトは、短期的には食材の提供を通して生活を支援することにつながっている。しかし、自由記述からは、くわえて「食」を通じた支援を受け取ることが、この社会で誰かとつながること、誰かに頼ることの糸口につながる可能性を感じ取ることができる。

プロジェクトへの評価が低かった利用者のコメントは、食以外の部分への支援の必要性を訴える切実なコメントであった。これはプロジェクトへの評価というよりも、社会全体が子育て世帯、生活に困難を抱える世帯への支援が手薄になっていることへの訴えであると考えることもできる。

感染の終息が未だ見えない今、プロジェクトの継続とともに、子どもや子育て世帯への支援の一層の充実が必要であろう。

活動報告 4

食のセーフティネット



生活困窮者の他、食の支援を必要とする人に対して、行政や支援団体を通じて緊急支援食品を提供する活動。



行政の福祉事務所や社会福祉協議会に生活相談に来られた方のうちソーシャルワーカー（社会福祉士等）が一時的な食の支援が有効である、と判断された場合、セカンドハーベスト京都に食品支援の要請に応じて支援食料を届け各機関を通して相談者にお届けするものです。訪問介護施設からの要請もあります。



パートナー団体利用状況

本年度は登録のある団体中8団体から利用があり合計127回217名の方々に食料をお届けしました。その量は1.2トンになります。

利用者の声

アンケートにご協力下さい

食の支援（フードバンク活動）継続のためお手数ですがアンケートにご協力下さい。

Q1：フードバンク（食の支援）をご利用になつていかがでしたか？（該当に丸印をお願い致します）

①大変助かった ②助かった

3.あまり助けにならなかった 4.助けにならなかった

Q2：生活の様子やご希望など自由にお書き下さい

休校中・休業中のご支援 とても助かりました。ありがとうございます。
食べ盛りの子どもがいるのに食費を節約しなければいけない状況でしたので本当に心から感謝しております。
大切にいただきたく思っております。
皆様大変な中、迅速に対応をしていただき本当にありがとうございます。

アンケートにご協力下さい

食の支援（フードバンク活動）継続のためお手数ですがアンケートにご協力下さい。

Q1：フードバンク（食の支援）をご利用になつていかがでしたか？（該当に丸印をお願い致します）

①大変助かった ②助かった ③あまり助けにならなかった

4.助けにならなかった

Q2：生活の様子やご希望など自由にお書き下さい

水道料金のみにこまっていたところ
とても助かりました。
院内出血のため 便器をやめないと
いけなくなり 後のベビーベリーリーでもこまってしまいました。ありがとうございます。

アンケートにご協力下さい

食の支援（フードバンク活動）継続のためお手数ですがアンケートにご協力下さい。

Q1：フードバンク（食の支援）をご利用になつていかがでしたか？（該当に丸印をお願い致します）

- ①大変助かった ②助かった ③あまり助けにならなかつた
④助けにならなかつた

Q2：生活の様子やご希望など自由にお書き下さい

現在生活保護申請中で所持金殆ど無く非常に助かります。
有りがとうございました。

アンケートにご協力下さい

食の支援（フードバンク活動）継続のためお手数ですがアンケートにご協力下さい。

Q1：フードバンク（食の支援）をご利用になつていかがでしたか？（該当に丸印をお願い致します）

- ①大変助かった ②助かった

③あまり助けにならなかつた ④助けにならなかつた

Q2：生活の様子やご希望など自由にお書き下さい

年金生活でいつも、食料品がつづかない
し、生活をして行くだけでいつもひで、
光熱費とか支払いでいつも、きり
きりで生活が毎日、大変で、すごく
困っていました。すごく、助かりました。

アンケート

次の支援に活かすためアンケートにご協力頂ければありがたいです。（該当に丸印をお願い致します。）

Q1. フードバンクをご利用になつて良かったですか？

- A1. ①よかったです ②よくなかったです ③どちらでもない

Q2. 欲しいものが入っていましたか？

- A2. ①入っていた ②入っていなかった
②とお答えの方は何があつたらよかったです？（ ）

Q3. その他ご意見などありましたらお願ひ致します。

早くお願いいたしました。

危険な物は入らなかった

脱衣することが出来ました。

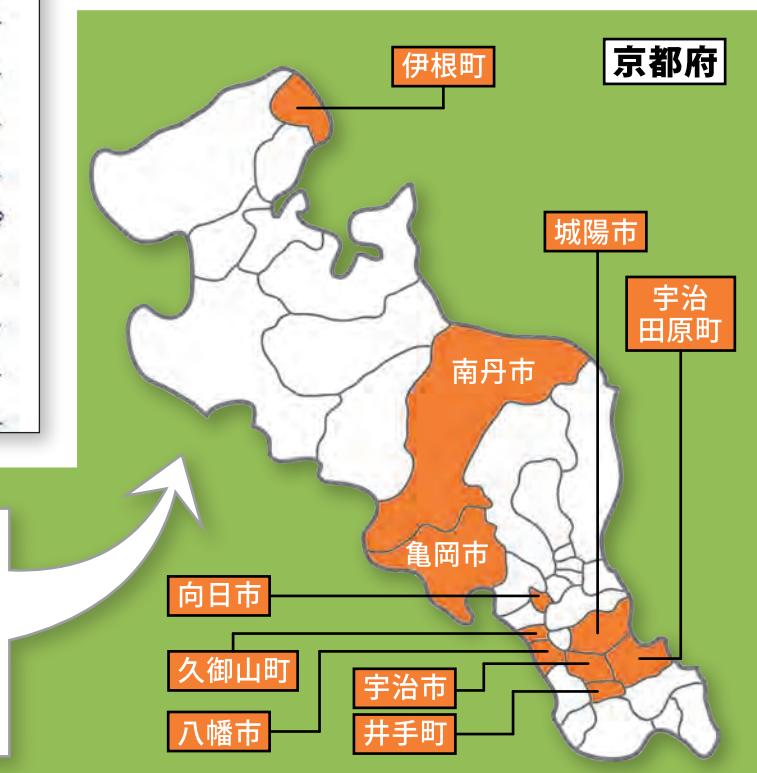
本音に見えがちでございました。

今後の課題

府内26自治体のうちカバーできているのは8行政地域でそれ以外からの支援要請が入った際にアウトリーチの手段がないため支援が届けられない状況にありますので、利用自治体を増やしてセーフティーネットを拡大していかなければと考えております。

現在カバーできている行政地域

伊根町	南丹市	亀岡市
向日市	久御山町	八幡市
宇治市	城陽市	宇治田原町
井手町		



その他の 事業



農林水産省食育等推進事業

新型コロナウイルスの影響で売れなくなった食材の生産者の支援とこども食堂の支援のため農林水産省が急遽実施した食育等推進事業「#元気いただきますプロジェクト」京都ではセカンドハーベスト京都が取りまとめ団体となりパートナーのこども食堂運営団体に提案し応募のあった府内7団体20回の計画で取り組みました。各こども食堂では1回、食育ミニ講座を実施（お弁当の配布で行っている団体には動画を配信のQRコードをお弁当に添付）しました。

参加団体

- ・社会福祉法人宏量福祉会 野菊荘 こもれび タノシメシ（京都市）
- ・NPO法人 happiness（京都市）
- ・NPO法人すまいるりんく（宇治市）
- ・ほっとマナ「ふれあいマナ食堂」（京都市）
- ・嵐山こども食堂（京都市）
- ・久御山町母子寡婦（さつき）会 SKIP こども食堂（久世郡）
- ・チームせせら goo スマイルダイニング（京田辺市）



食品ロス削減のための出前授業

春以降は新型コロナウイルスの影響で授業時間が足りなくなり実施できる学校が大幅に減りましたが、それでもいくつかの学校で実施できました。

2019/12/05	京都市立竹田小学校	4年生	2クラス
2020/01/28	京都市立京北第二小学校	6年生	1クラス
2020/01/30	京都市立京北第三小学校	6年生	1クラス
2020/02/04	京都市立京北第一小学校	6年生	1クラス
2020/02/18	京都市立神川中学校	2年生	8クラス
2020/02/20	京都市立神川中学校	2年生	2クラス
2020/10/13	京都市立竹田小学校	4年生	2クラス



パブリシティ

今年度は、新型コロナウィルスの影響で休校措置になったことで
その対処を実施した3月4月の記事が多く取り上げられました。

- | | | |
|------------|----------------|----------------------------|
| 2020/01/27 | 京都新聞 | 子どもたちを食で支える |
| 2020/03/08 | 京都新聞 | 就学援助世帯に食品を
一斉休校で京のNPO募る |
| 2020/03/11 | 朝日新聞 | 休校中の子に食料支援を
NPOが寄付募る |
| 2020/03/11 | 読売新聞 | 余った食品で子ども支援 |
| 2020/03/14 | 産経新聞 | 新型コロナ子育て世帯支援 |
| 2020/03/14 | NHK京都 | 関西のニュース |
| 2020/03/14 | 関西テレビ | FNN Live News it ! |
| 2020/03/16 | 洛タイ新報 | 給食なく空腹案じ |
| 2020/04/19 | KBS京都TV | 京都新聞ニュース |
| 2020/04/19 | 京都新聞 | 食品 休校で困窮の家庭へ |
| 2020/04/22 | 京都新聞 | 困窮家庭へ食品送付 |
| 2020/05/30 | 洛タイ新報 | 地元4団体「鳳凰賞」に |
| 2020/06/04 | 京都三条
ラジオカフェ | KYOTO HAPPY NPO! |
| 2020/07/11 | KBS京都TV | 京の夏チャリティうちわ |
| 2020/08/01 | KBS京都TV | 京都新聞ニュース |
| 2020/08/11 | KBS京都TV | 京の夏チャリティうちわ
寄付金贈呈式 |
| 2020/08/18 | 洛タイ新報 | 400世帯へ食品支援 |
| 2020/11/27 | 京都新聞 | 余った食品集めて寄付
大谷中高生ら |



Special Thanks

一寄付寄贈一

少しづつ寄付寄贈の輪が拡がっていっています。ご支援・ご協力ありがとうございます。（順不同・敬称略）



コストコホールセールジャパン株式会社 京都八幡倉庫店



イオン株式会社



石井食品株式会社



生活クラブ京都エル・コープ



生活クラブ京都エル・コープ



経済産業省 近畿経済産業局



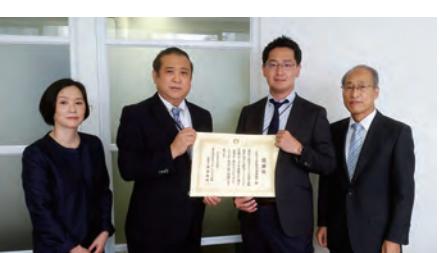
株式会社ローソン



株式会社ユニット



明治安田生命保険相互会社



弁護士法人伏見総合法律事務所



明治ホールディングス株式会社



マルコメ株式会社



株式会社アイズ



サンプソンファーム

Special Thanks

—ボランティアの活動紹介—



34名の登録ボランティアで活動を進めました





特定非営利
活動法人

セカンドハーベスト京都

〒605-0018

京都市東山区三条通大橋東入る巽町 442 番地の 9 京都市東山いきいき市民活動センター



TEL : 075-601-2100 FAX : 075-320-3765

E-mail : info@2hkyoto.org URL : <https://www.2hkyoto.org>

